



玉北小だより

かしこく
やさしく
たくましく

小美玉市立玉里北小学校
平成29年6月16日
No. 11

子どもって すばらしい

(手前味噌ですが…)
本校の子のよい場面を
たくさん見つけました

(一部を紹介します)



左の写真は、昇降口の靴箱を撮ったものです。前号「昇降口のメッセージボードより」でも紹介をしましたが、靴のかかと部分がきちんと揃えて入れられています。意識してかかとをそろえて入れる子がいるから風景ですが、実は、それだけではありません。

毎朝、1年生の女の子二人(桜井さん、額賀さん)が揃えてくれています。はじめは、「ほめられたい」という思いでやっていたのかもしれませんが、今は、習慣のようになっているようです。

大人だって、自分がやったことを誰かが見てくれてことばにしてくれたらうれしいものです。子どもならなおのことなのではないでしょうか。

本校職員は、今日も、一人を大切に「目をかける 心をかける 心をかける」を実践しています。

体力テストで…



4年生と1年生がペアになり、1年生の測定をしてあげていたときのことで。応援をしたり、「もっとこうするといいよ」とコツを教えたりする姿が、たくさん見られました。

1年生にとっては初めての体力テストは、4年生に「すごい。がんばったね。」とほめられ、満足したものになったようでした。



合唱練習で…



昨年度に引き続き、入澤薫先生に来ていただき、ご指導をお願いしています。

子供たちの、表情や歌声からは、入澤先生の言葉を、実に素直に聞き、心で感じている、表現していることを実感します。

感性の豊かさ、心の素直さをもった5、6年生です。

トイレで…

ある日の昼休み、私はトイレで4年生の荒井さんと一緒にいました。私が入ろうとしたとき、彼女は出るころでした。あいさつを交わし、私は用を済ませました。手を洗って出ようとしたとき、向きを変え揃えられた私の上靴がありました。

後から聞いてみると、「家の人がお客様の靴をそろえているのを見たことがあるから」とのことでした。見たことがあっても、なかなか実践はできないものです。

あったかい気持ちになった出来事でした。

お知らせとお願い (職員室の風景から)

水泳の学習がはじまりました。水泳学習がある日には、必ず検温や健康観察、保護者の方のカードへの押印をお願いしているところです。

ある朝、押印漏れがある子がいて、担任としてはプールに入れてあげたい、保護者の方に電話をしようか…という場面がありました。

「プールに入れてあげたい」という強い思いはあるものの、**押印漏れの場合、入水許可をいただく電話はしない、と各担任に伝えました。**たとえ1年生であっても、朱色の押印は確認できるはず。

おうちの方に任せっきりにするのではなく、学習のために、自分でも確認ができる子に育ててほしいのです。また、保護者の方の勤務体制によっては、常に、学校からの電話に出らなくてはならないという方々がいることもうかがっています。さらに、確認の電話のために、朝の大切な時間に担任が教室から離れることも避けたいと考えています。

ご理解いただき、押印漏れがないようご協力をお願いいたします。

(校長：白井)